

Rotary
RI2760



災害時における支援活動の初動体制
～東日本大震災の教訓から～

報 告 書

国際ロータリー第2760地区
東日本大震災プロジェクト委員会



はじめに	-----	1
1 検証！東日本大震災		
① 東日本大震災の記録	-----	2
② 3. 11 その時、ロータリーはどう行動したか	-----	3
②-1 RI第2520地区(宮城、岩手)の記録	-----	3
②-2 RI第2530地区(福島)の記録	-----	7
(東日本大震災地区活動記録より抜粋)		
2 RI第2760地区 被災時における初動体制に向けて		
① 各被災地域の被災状況の確認(ロータリー会員含む)	-----	9
② 災害支援本部(仮称)の立ち上げ及びその周知	-----	9
③ 支援物資の受け入れ及びその分配体制の確立	-----	11
④ 義捐金の受け入れ及びその分配方法(基準)の確立	-----	11
⑤ 政府、県、市町村等行政機関、独立法人との連携	-----	12
緊急災害初動体制フローチャート	-----	13
3 資料		
・ 国際ロータリー第2760地区 災害時緊急連絡網(案)	-----	14
・ 国際ロータリー第2760地区 災害支援本部(仮称)組織図(案)	-----	15
・ 義援金ならびに救援物資のお願い(RI第2520地区ガバナー月信より)	-----	16
・ RI第2520地区復興に関する書式の一部(2014.11.17公開例会資料より)	-----	17
・ 今後の地区とクラブの活動方針(RI第2520地区ガバナー月信より)	-----	18
・ 海外からの支援メール(2014.11.17公開例会資料より)	-----	19
・ ロータリー財団 マッチング・グラント進行表(RI第2530地区ガバナー月信より)	-----	20
・ ロータリー東日本震災復興基金日本委員会 2530地区承認報告	-----	21
(RI第2530地区ガバナー月信より)		
・ RI第2530地区 東日本大震災 支援物資・義援金一覧	-----	22
(RI第2530地区ガバナー月信より)		
・ シェルターボックス(RI第2520地区ガバナー月信より)	-----	23
・ シェルターボックスと国際ロータリー(RIウェブサイトより)	-----	24
・ 東日本大震災プロジェクト委員会被災地活動記録	-----	25

はじめに・・・

2011年3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島の東南東沖130km、仙台市の東方沖70kmの太平洋の海底を震源とする東日本大地震が発生した。地震の規模はマグニチュード9.0で、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震であった。この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高40.1mにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生した。この震災による死者・行方不明者は18,483人、建築物の全壊・半壊は合わせて401,567戸が公式に報告されている。またこの巨大津波により、福島第一原発はメルトダウン(炉心溶融)が発生。大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展した。現在、福島県の避難指示区域からの避難者約8万人を含め、未だに24万人の方が避難生活を強いられ、仮設住宅には約9万人が不自由な生活を送っている。

ロータリークラブは震災発生直後から復興支援に動き出し、全国のロータリアンから寄せられた義捐金は総額10億円を超え、その他多くの救援物資が被災地に届けられた。被災地ロータリークラブは自らが被災者にも関わらず、いち早く復興支援特別委員会を立ち上げ、日本委員会と連携をとりながら被災者への支援及び地域の復興に向け活動を開始した。それには多くの問題点、困難があったようである。(RI第2520地区復興支援特別委員会聞き取り調査より・・)

昨今、自然災害は地震のみならず、極地的豪雨による土砂災害・火山の噴火・大雪による被害など、時と場所を選ばず突如として襲って来る。西日本太平洋沿岸部においては、マグニチュード8.0～9.0の巨大地震が近い将来必ず起きるであろうとされている。この地震による愛知県の最大死者数は29,000人(愛知県発表2014年5月)と予想されている。私たちロータリークラブは、東日本大震災を教訓として、有事に際しての初動体制を早急に確立させておく必要があると考えられる。

当地区においては、2011年11月(松前ガバナー年度)、東日本大震災支援プロジェクトチーム会議が開催され、2012～2013年度から東日本大震災プロジェクト委員会が発足する事となった。当初から委員会はRI第2520地区復興支援特別委員会、RI第2530地区ロータリー財団委員会より入手した被災地支援要請を地区内83クラブに情報として発信した。また幾多の現地視察、被災地ロータリークラブとの合同会議を開催し、初動体制等の調査結果をまとめ上げ、この度答申として報告するものである。

国際ロータリー第2760地区
東日本大震災プロジェクト委員会
委員長 鈴木元弘

1 検証！東日本大震災

① 東日本大震災の記録

概要

地震発生

2011年(平成23年)3月11日14時46分、宮城県牡鹿半島の東南東沖130km、仙台市の東方沖70kmの太平洋の海底を震源とする東日本大震災が発生した。地震の規模はマグニチュード9.0で、発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震である。震源は広大で、岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmのおよそ10㎦という広範囲全てが震源域とされている。最大震度は宮城県栗原市で観測された震度7で、宮城・福島・茨木・栃木の4県36市町村と仙台市内の1区で震度6強を観測した。

被害

この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高40.1mにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生した。また、津波以外にも、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、北海道南岸から東北を経て東京湾を含む関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し、各種インフラが寸断された。

2015年(平成27年)1月9日時点で震災による死者・行方不明者は18,483人、建築物の全壊・半壊は合わせて401,567戸が公式に確認されている。震災発生直後のピーク時における避難者は47万人以上、停電世帯は800万戸以上、断水世帯は180万戸以上の数値が報告されている。

2015年1月現在の避難者は約23.9万人となっている。日本政府は震災による直接的な被害額を16兆円から25兆円と試算している。

福島第一原発

地震から約1時間後に遡上高14m～15mの津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所は、全電源を喪失。原子炉を冷却できなくなり、1号炉・2号炉・3号炉でメルトダウン(炉心溶融)が発生。大量の放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展した。この事故は、国際原子力事象評価尺度で最悪のレベル7、チェルノブイリ原子力発電所事故と同等に位置づけられた。同原発の立地する福島県浜通り地方を中心に、

周辺一帯の福島県住民の避難は長期化するとともに、2012年からは「帰宅困難区域」「居住制限区域」も設定された。

② 3.11 その時、ロータリーはどう行動したか？

②-1 RI 第 2520 地区の記録

②-1-1 ガバナー月信より

3.11(金)14:46…M9.0 の大地震の発生！各ガバナー補佐に連絡するも全て不通。各クラブ会長も不通。

3.12(土)ガバナー会へ大地震発生 of 報告メール送信。

3.14(月)地区大会 of 中止決定。フランス of シェルターボックスチームが東京に到着。

3.15(火)災害復旧に向けて一致協力を依頼

- ① 会員の安否の確認
- ② 会員企業の現状把握
- ③ 支援体制の確立
- ④ 全国からの救援物資の窓口対応と対応
- ⑤ 全世界からの救援物資の窓口対応と対応
- ⑥ 義援金の口座開設と管理・運営
- ⑦ 地区大会中止のための事務処理
- ⑧ 今後の対応方法の検討
- ⑨ 地区大会 of 報告書の作成
- ⑩ 3月の公式行事は全て中止する。
- ⑪ 4月からどう再開できるかの検討をする
- ⑫ 地区大会未開催のための決議・方法を検討

3.16(水)ガバナー事務所で対応、今後の方針を決定。全国34のガバナーに地区の現状を報告、救援物資の依頼・義援金口座を連絡。岩手県庁を訪問し、協力依頼をする。

3.18(金)各ガバナー補佐に連絡し、現状報告を聞く。

3.19(土)第2780地区茅ヶ崎RCより、ヘリコプターで南三陸町へ医師団の派遣の連絡有。

3.20(日)シェルターボックス330個到着、軍からは軽油6000ガソリン2000確保。

3.26(土)北清治PDGよりマッチンググラントの協力の申出を受ける。緊急常任幹事会を開催し、今後の対応と行事の確認等をする。

3.28(月)岩手地区 of PDGによる緊急諮問委員会を開催し、現状を把握する。

4.01(金)宮城地区 of PDG会議を開催。

4. 07(木)PDG 会議・緊急諮問委員会開催。

《検討・決定事項》

①津波被害の沿岸被災 25 クラブへ当面の活動資金・援助金 50 万円の支給の決定。

②資金の使い方

- ・ 地区資金～基金～義援金の順番
- ・ 資金用途についてはガバナーに一任すべきである！
- ・ 国際大会へ不参加の報告

③支援物資の件

4. 09(土)ガバナー事務所にて情報収集と手配をする。支援物資窓口と対応策の整理・確認をする。義援金について確認をする。

4. 11(月)グランドプリンスホテル高輪にて緊急ガバナー会議開催。第 2520 地区の現状報告をする。緊急被災孤児の基金に関する会議

4. 15(金)津波被害の沿岸被災 26 クラブへ当面の活動資金・援助金の支給 (25 から 26 クラブに変更)。新年度以降の基本構想の作成。

4. 16(土) 義援金についての基本構想 (案) の作成

4. 21(木)上海から義援金の国際電話、オーストラリアの主婦たちから義援金・支援の電話

4. 29(金)笹氣直前 DG・楢山 DG・菅原 GE・小野寺 GN の四者で会議。新幹線が 50 日ぶりに再開。

5. 17(火)第 2 回災害支援検討委員会(東京)。東日本大震災支援プログラムの検討。

5. 29(日) 臨時地区会議開催。

6. 08(水)ガバナー会被災地現地視察。

6. 09(木)第 2 回災害支援検討委員会(日本委員会)の開催。

6. 13(月)第 2700 地区原田光久 DG より、ガバナー会に預けてある全ての義援金を払い戻してもらい、2520, 2530 二つの地区に送りたい、とのメールあり。

6. 21(火)地区負担金の返金の件、会費の割り戻しの件を検討する。

6. 22(水)義援金・地区資金の清算方法について協議

- ・ 被災 26 クラブに追加義援金@70 万円

- ・ 各 83 クラブへの地区資金の返金@1 万 4 千円予定

7. 01(金)グランドプリンス高輪にて直前ガバナーミーティング。東日本支援委員会の件を新ガバナー会に報告。

②-1-2 菅原年度復興支援特別委員会の記録（聞き取り調査から）

3.11(金)午後2時46分 巨大地震発生。約4分46秒の長い揺れ、その後大津波に襲われ、電気、ガス、水道等のライフラインがストップした。全市停電による真っ暗闇の中、一夜を過ごした。宮城県並びに岩手、福島等の広範囲での大災害であることを翌日電気が復旧して知った。3月12日、13日は、仙台駅と例会場でもあるホテルメトロポリタン仙台が地震被害のため閉鎖。3月15日(火)の例会が中止される。

3月29日(地震発生後18日目)臨時理事役員会を開催し、例会は4月5日(火)まで休会とし、4月12日(火)は通常通り開催の旨、決定した。この時点ですでに、金沢RC、マウイRC等から義援金の申し入れが来ており、ただちに仙台ロータリークラブ災害義援金口座を開設した。当時の菅原ガバナーエレクトから、4月予定の地区大会、GSEは中止、5月予定の地区協議会も中止の旨の報告があった。

地区においては檜山パストガバナーの御英断により間髪を入れずして東日本大震災復興特別委員会の設置とRI第2520地区の被災クラブへ200万円の義援金の配布が決定された。本格的な活動は7月以降の菅原ガバナー年度に委ねられたが誰もが初めての経験であり、何をすることも手探り状態、試行錯誤と朝令暮改の連続であった。最初に取り組んだのが各ロータリークラブの被災状況の調査で、その結果、被災したクラブで支援を必要とするのは、沿岸部の26クラブに決定した。

次に問題となったのは、その26クラブに対し地区の義援金会計からどのような基準で分配するかという事だった。委員会での討議の結果、当面は各クラブからロータリー復興基金日本委員会(小沢一彦PG)に補助金を申請し、そこで認可されたプロジェクトに対して申請額の30%にして上限200万円を支給することが決議された。(その後、40%にして上限300万円に修正)ちなみに日本委員会の審査基準は①被災者が対象②緊急性のあるもの③事前稟議制、等で認可されない代表的なものは「モニュメント」や「どこかに連れて行く」「実施済みのプロジェクト」であった。また被災26クラブを支援する内陸部の担当クラブも従前の交流関係の深さによって決定された。RI第2520地区に外国も含めて寄せられた義援金は4億円弱。3月末までに提出されたプロジェクトは約100件、その内認可されたものが50件で却下が20件弱、その他は審査待ちという状況であった。思ったより応募プロジェクトが集まらず(自分のことで精一杯の状態でもロータリーどころではなかった)事例を掲げながらクラブに働きかけ応募を呼びかけた。

支援の内容としては①生活(水や食料、衣類等)②教育(幼稚園や学校への教材や備品、通学バス等)③産業(漁具や冷蔵庫、運搬車輛等)④生活環境(集会所やバスの待合所等)の事業が緊急性と必要性によって順次、展開された。日本委員会の活動は3月末を以て終わり4月からは地区独自の審査基準によって引き継がれたが、基本はそのまま踏襲した。分野としては上記の②教育関係③産業復興④生活環境整備で①の生活支援に代わって新たに加わったのが⑤被災者の心のケアの問題であった。審査に当たっては、同種で実績があるプロジェクトや、教育委員会をはじめとして行政の要請のあるもの優先させた。特に重視したのは、海岸林の再生と心のケアで震災当初は混乱に紛れて後廻しにされていたが、時が経つにつれてその重要性が叫ばれるようになった。

その他にも、日本委員会や地区の補助金を使わないプロジェクトが多数あり、マッチンググラントを利用しての外国との提携や仲介の役割を果たしてきた。大変残念に思われたのは、多くのクラブから要請があった「特定の被災孤児への支援」に応えられなかったことで、人数を限って長期に渡ってしっかりとした援助をしたいとの照会があったが、平等性と個人情報保護法の高い壁を前にして実現できなかった。

緊急ということで申請書にはガバナーのサインは不要だったが、あまりにもずさんであったためにガバナーのサインを必要とした。

混乱の中、事務局の対応は平常時と一変し、世界中からの義援金、支援物資への対応や、頭を悩ませ困ってしまうような出来事の多さに驚かせられた。特に矢面に立たされたガバナーに一部批判的で非協力的な誹謗中傷もあったそうである。



宮城県気仙沼市 鹿折地区

②-2 RI 第 2530 地区(福島)の記録

(東日本大震災地区活動記録より抜粋)

3.11(金)東日本大震災発生 マグニチュード 9.0 巨大地震・津波・原発事故発生/停電、断水などライフライン崩壊(一般道、高速道路、鉄道、電気、水道、ガス)

3.12(土)原子力発電所で水素爆発が報道される。大橋ガバナーによって幹事会招集。支援会議を開催

3.13(日)福島県内において自宅待機や避難を勧告される地区が発生各パストガバナー・ガバナー補佐にロータリー会員の安否を確認 3月13日開催の PETS が震災のために中止

3.14(月)三役会開催(ガバナー・地区幹事・地区副幹事)日本赤十字社福島県支部・太田支部長と支援体制の協議を行う、各避難所にマスクを配布するためにマスク 10 万枚を確保 相双分区・今村ガバナー補佐より避難所への必要物資支援要請があった。青少年交換学生の帰国に伴い成田空港まで車で送る。

3.16(水)各地区から「支援物資の搬入体制はあるものの、運送会社から放射線量が心配で福島県までは運べない、と断られる」と報告を受けた。

3.17(木)ホームページに支援物資受け入れ先や義援金の振込口座番号を記載する。

3.19(土)明石西 RC の西大條公一氏他一名が大量の医薬品を携えて須賀川市内の三つの RC 会員、味戸 PG が待つ福島空港にセスナ機で到着。支援された物資は公立岩瀬病院に届けられた。

3.23(水)イギリスより義援金が入る サンフランシスコの手代木様より寝袋 110 個の支援物資が届く

3.25(金)地区ホームページの支援物資受け入れ内容の更新

3.29(火)新たに支援物資保管倉庫を確保

3.30(水)シェルターボックス(依頼はしていない)の説明に RI 第 2520 地区笹木 PG、フランスより John diksa 氏が来訪。活用方法、組立を学ぶ。

4.04(月)東日本大震災支援本部第一回会議開催

4.11(月)ロータリーの友・渡辺所長、二神編集長が来福し、支援対策協議を行う。

4.13(水)復興支援対策について協議

4.16(土)大橋ガバナーが相馬 RC を訪問し、現況確認

4.22(金)根元ガバナーエレクトと地区協議会の開催について協議

- 4. 23(土) 関場慶博 2010 年規定審議会 SAA の来訪を受ける。
- 5. 10(火) 諮問委員会にて災害義援金について協議
- 5. 13(金) 県中分区会長・幹事会に出席し、現況確認
- 5. 17(火) ガバナー会に出席し(東京)、義援金の使途について協議
- 5. 20(金) 中央分区会長・幹事会に出席、及び会津分区に訪問し、現況確認
- 5. 23(月) 被災 15 市町村に対し義援金目録を贈呈
- 6. 08(水) 次期ガバナー事務所と今後の支援活動について協議
- 6. 24(金) 地区副幹事会開催、支援活動について報告
- 6. 27(月) 福島県授産事業復興会へスペイン・アルコイ RC からの義援金を贈呈。アメリカからの義援金を県立医科大学の研究室に届ける。
- 7 月 4 日(月) 被災した生徒をオーストリアに派遣する「被災生徒オーストリア派遣プロジェクト」の参加メンバー決定会議を開催。その後、無事派遣。帰国の途につく



大津波により船が校庭にまで流されてきた。



オーストリア派遣プロジェクトに参加した被災生徒たち

福島空港に到着した明石西 RC の方々

2 RI 第 2760 地区 災害時における初動体制に向けて

調査の結果から初動は、RI 第 2520 地区及び RI 第 2530 地区双方ともガバナー事務所及び県庁所在地には津波被害が無く、地震被害も軽度だったため、事務所機能の回復も早く、震災直後からの動きは当初より迅速に行われていることが分かった。当地区としてもそこから透けて見えてきた結果と問題点において、我々ロータリーは災害発生に向けて何を準備しておかなければいけないのか、災害時の初動では何ができるか、しなければいけないのか、を整理する必要がある。それが次にあげる 5 項目に集約される。

- ① 各被災地域の被災状況の確認（ロータリー会員含む）
- ② 災害支援本部（仮称）の立ち上げ、及びその周知
- ③ 支援物資の受け入れ及びその分配体制の確立
- ④ 義捐金の受け入れ及びその分配方法（基準）の確立
- ⑤ 政府、県、市町村等行政機関、独立法人等との連携

① 各被災地域の被災状況の確認（ロータリー会員含む）

資料 国際ロータリー第 2760 地区 災害時緊急連絡網(案)参照

東日本大震災では通信機能が遮断され、被災状況の把握が遅れた点から見ても、非常時の確認方法を検討しておくことが必要である。通信手段、情報の集約箇所等事前に決めておき、なおかつ予行練習を行い、有事の際に有効に運用できることが重要である。連絡網において、連絡者には必ず副連絡者を設け、情報網の寸断の無いよう注意しなければならない。各ロータリークラブ内にも連絡者、副連絡者を設置し、確実に迅速に被災クラブ、分区からも情報が収集できるようにしておかなければならない。

- ポイント**
- ・ 通信手段（例：災害用伝言板、LINE）
 - ・ 情報網
 - ・ 情報の集約箇所
 - ・ 予行練習

② 災害支援本部（仮称）の立ち上げ及びその周知

資料 国際ロータリー第 2760 地区災害支援本部（仮称）組織図(案)参照

災害が発生した時、RI 第 2760 地区は早急に災害支援本部（仮称）を立ち上げなければならない。本部長にはガバナーが就任するが、ガバナーの不測の事態に備え、代行順位を事前に決めてお

く必要がある。(例：副ガバナー)

災害支援本部（仮称）は組織の固定化を図り、責任を明確にすることが重要で、東日本大震災の聞き取り調査では、その体制の維持について5年間としている。

災害支援本部（仮称）は原則としてガバナー事務所内に置くが、ガバナー事務所が被災した場合もしくは使用不可能な場合、仮事務所を何処に置くかを事前に検討しておく必要がある。(東南海沖地震では、名古屋市内では1m～2mの津波被害が予想されていることから)仮事務所の設置場所は高台であること、交通の利便性等を考慮することが望ましい。

災害支援本部（仮称）は大災害時に出来るR I 災害支援日本委員会との連絡調整、連携も重要な任務となる。

災害支援本部（仮称）は、支援情報提供や仲介の役割も果たさなければならない。ロータリアン自体が被災されている場合、応募されるプロジェクトが少ないので(自分のことで精一杯でロータリーどころではない)、事例を掲げながら各クラブに働き掛け、情報提供や仲介を行い応募させる必要がある。プロジェクトには日本委員会や地区補助金を使用しないものから、マッチンググラントを利用した外国との連携や国内クラブ独自の取組等が想定される。(資料 P20、21 参照)

災害支援本部（仮称）組織において、RI 第 2760 地区組織には現在危機管理委員会が設置されているが、現業務に加えて災害発生時には支援特別委員会（仮称）としての機能を持たせ、緊急時に対応させることが望ましい。この委員会は災害支援本部（仮称）組織の中に位置し、支援の実務を担当する。また、現在より災害支援本部（仮称）の組織、任務等具体的な企画・立案と各種予行練習も担当することが望ましい。

RI 第 2760 地区のホームページには災害支援本部（仮称）が立上りしだい早急に本部の所在地・連絡先、支援物資の受入れ先、義捐金振込口座番号等を明記した広報をする。支援物資、及び義捐金は海外からも届くことから、英訳したものも最低準備する必要がある。

- ポイント**
- ・ 本部長
 - ・ 災害支援本部（仮称）
 - ・ 支援特別委員会（仮称）
 - ・ 義捐金口座
 - ・ 広報・通訳

・ 支援情報、支援要請情報

③ 支援物資の受け入れ及び分配体制の確立

大量の受入れ救援物資を保管する拠点を確保する(物資の量から見ても数カ所になる)場所にあたってはロータリー会員の運送会社が望ましいが、交通の利便性等考慮する必要がある。また、近くに空港、ヘリポートがあり、出来れば事前に調査し、覚書を交わすことが望ましい

救援物資の仕分け・選別にはかなりの人員が必要とされる上、運搬車輛・リフト等機械、機材の対応が必要。東日本大震災では海外(アメリカ・ヨーロッパ)から突如として送られてくるシェルターボックス(災害発生後48時間以内に被災地へ送られてくる…1000個以上)への対応もされており、その組み立て方法、活用の仕方等説明を受け一緒に活動している。また彼らの食事、宿泊等の世話も当然必要とされる。(資料 P23,24 参照)

被災地への救援物資の搬送において、搬送先・搬送物資の決定は支援特別委員会(仮称)に一本化して行わなければならない。よって、救援要請情報も行政、RCからも含めて全て支援特別委員会(仮称)が窓口となる。

この部門には多数のボランティアが必要になるのでその受け入れ態勢も考慮しておく必要がある。また海外との折衝、対応等に通訳も必要になる。

- ポイント**
- ・ 救援物資受入れ、仕分け場所
 - ・ 救援物資輸送先
 - ・ 救援要請情報
 - ・ ボランティア、通訳等必要作業人員

④ 義捐金の受け入れ及び分配方法(基準)の確立

国内・海外からの義捐金を受け入れるための口座の開設、振込口座の周知を図るとともに管理の一本化が必要である。その場合の管理責任者、通帳並びに印鑑の保管場所等事前に決めておく必要がある。

義捐金は東日本大震災の事例を見てもわかるように、世界各国からR Iを通じてR I日本委員会にも莫大な義捐金が送られてくるので、日本委員会からの受入れ管理も重要である。

ガバナー補佐からの各地区の被災状況を把握した情報により、災害支援本部(仮称)にて支援クラブを決定する。分配基準につ

いては東日本大震災での情報を参考に、支援特別委員会（仮称）で案を事前に作成する必要がある。当然、日本委員会の分配基準も遵守しなければならない。

被災されたロータリアン個人、その家族への支援は東日本大震災では当初原則として認められなかったが、最後に弔慰金として贈っている。ロータリアン又ロータリアンの企業の支援については事前に最良な方法を考える必要がある。

- ポイント**
- ・ 義捐金口座管理責任者
 - ・ 義捐金分配基準
 - ・ 通帳・印鑑保管場所

⑤ 政府、県、市町村等行政機関、独立法人との連携

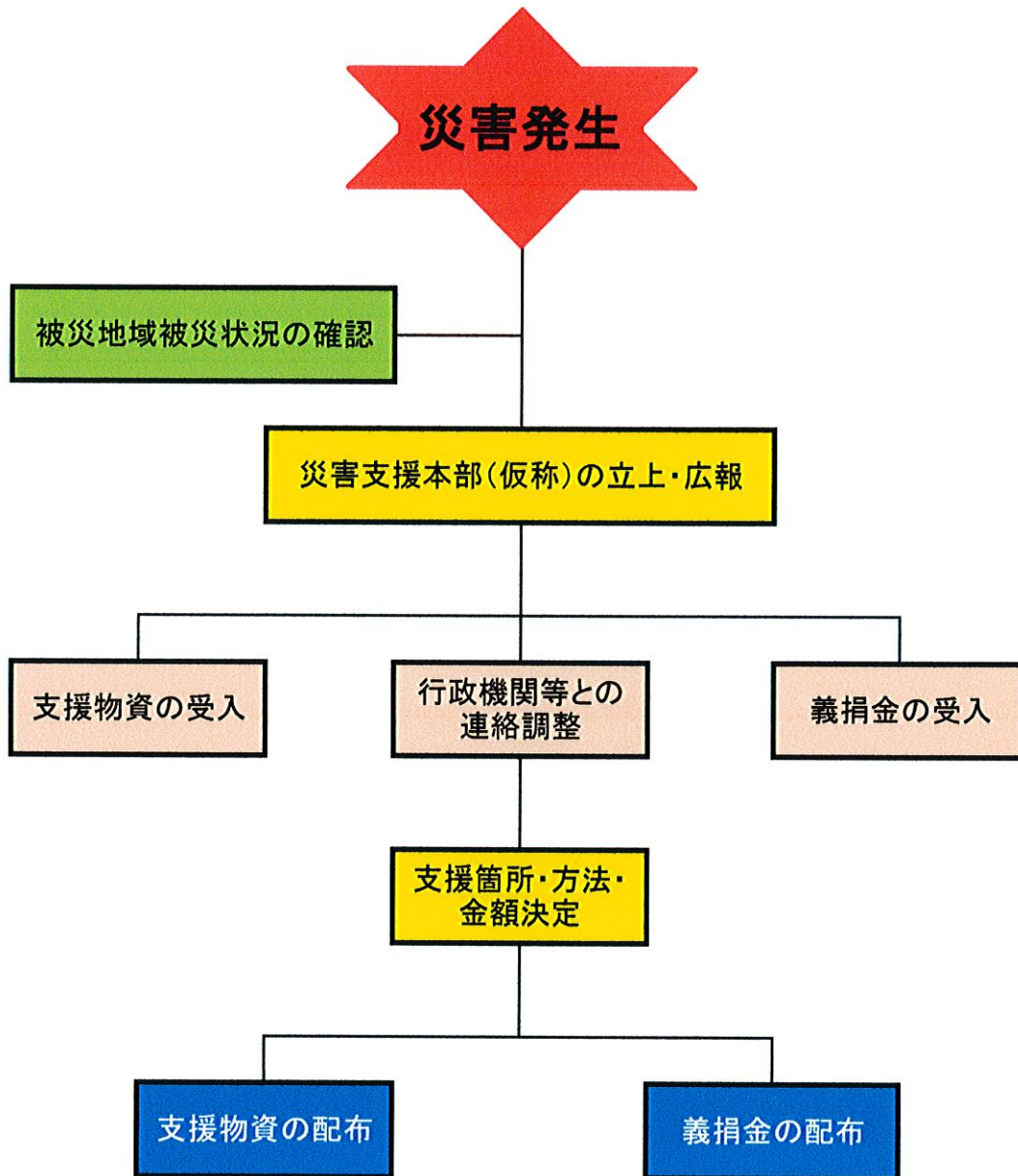
東日本大震災では日本赤十字との協議が早急に行われている。支援について行政からの要請もあり、その公共性、公平・公正の観点から災害支援本部(仮称)の判断が必要とされる。水、食糧等は多くは行政ルートで集まっている。

当地区で集約された支援物資の仕分け、分配又は海外 RC からの人的支援者の調整等当然多くのボランティアが必要になり、各機関との調整が必要不可欠なものである。事前に各機関の窓口と責任者を確認し調整し、場合によっては予行練習に参加して頂く必要もあるのではないか。

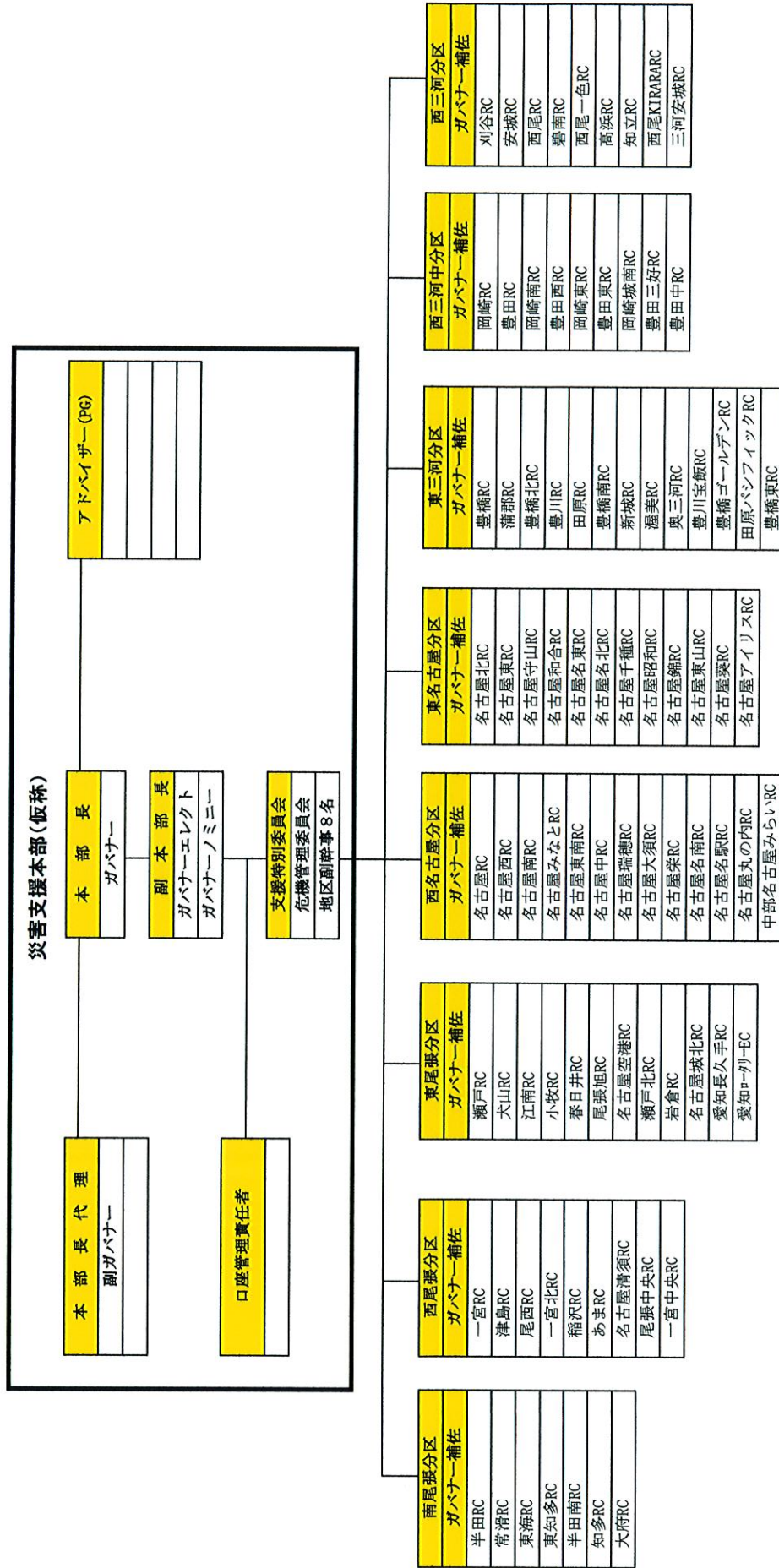
- ポイント**
- ・ 各機関との連携、調整
 - ・ ボランティア
 - ・ 予行練習

国際ロータリー第2760地区

緊急災害初動体制フローチャート

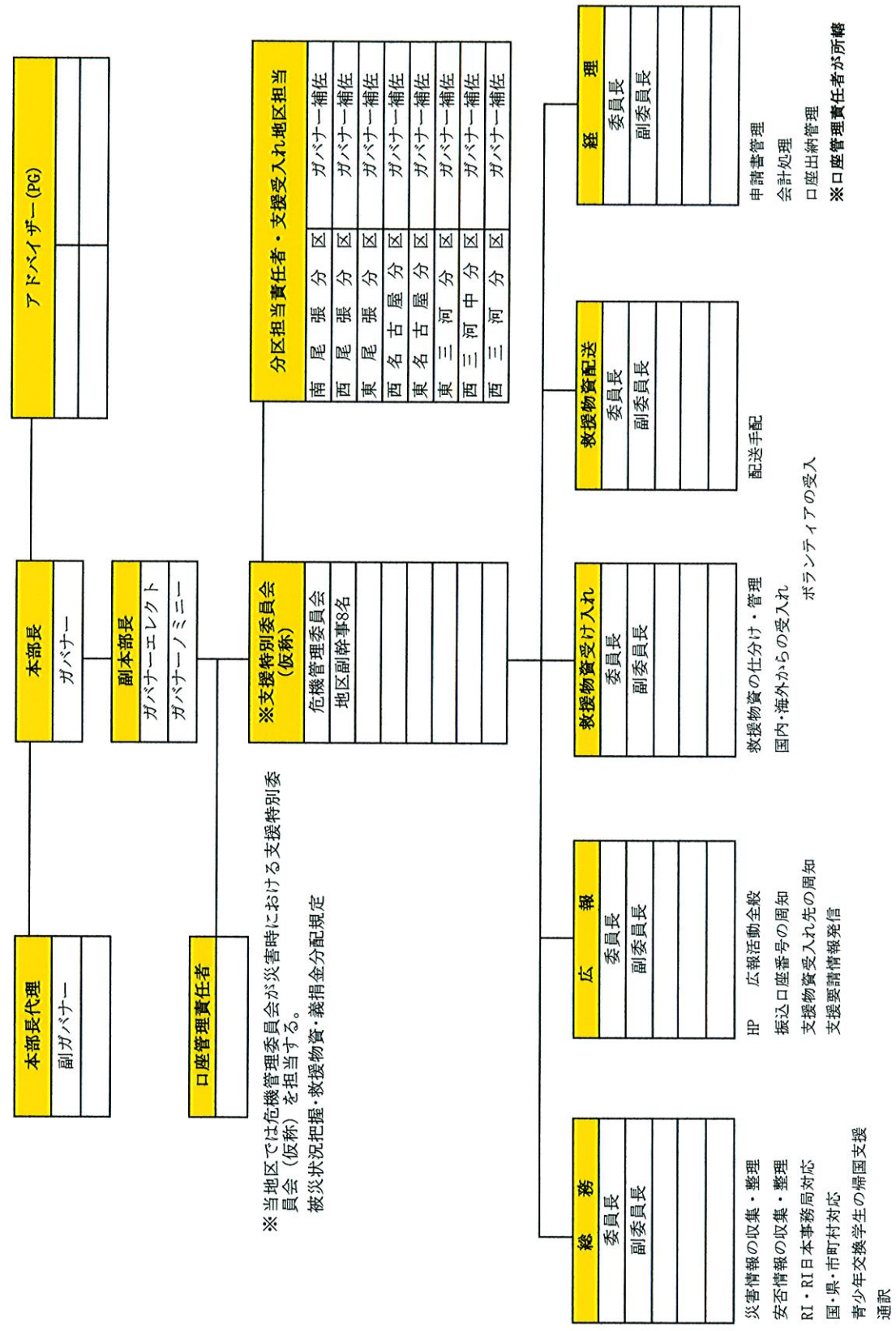


国際ロータリー第2760地区 災害時緊急連絡網 (案)



※各担当の氏名・緊急連絡先を明記すること
 ※各クラブは担当、副担当を任命し氏名・緊急連絡先を明記すること

国際ロータリー第2760地区 災害支援本部組織図 (案)



義援金ならびに救援物資のお願い (RI第2520地区ガバナー月信より)

義援金ならびに救援物資のお願い

先月、東北地方太平洋沖地震について、お願いのメールを雪ごし連絡させて頂いたこと、各方面、地区、クラブからのあたたかいご支援の申し出をいただき、大変ありがたく感謝申し上げます。

その後、物資の受け渡しほか再度検討させていただきまして、あらためてご連絡申し上げます。復興にはかなりの時間がかかると思いますが、皆様からのご支援は大切に役立てていきたいと思っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

なお当初、支援物資につきましても、被災地との連絡がなかなか取れないこともあり、受入れ先が決まらず困っておりましたので、とりあえず桑原バストガバナーの会社に岩手、宮城の受入れ先としてお願いをいたしました。この度岩手の受入れ先も整いましたので、あらためてご連絡いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

義援金の口座

国内からのご送金

東北銀行 盛岡駅前支店
普通口座 3147776
口座名義 東北地方太平洋沖地震 義援金 ガバナー 植山直樹

海外からのご送金

岩手銀行 盛岡駅前支店
普通口座 2058933
口座名義 東北地方太平洋沖地震義援金 ガバナー 植山直樹

The Bank of Iwate, Ltd
Moriokaekimae Branch
savings/deposit account 2058933
Tohoku Chiho Taiheiyooki Jishin Gienkin Governor Naoki Narayama

※岩手銀行の場合、中継銀行がないのでスイフトコードはありませぬ。直接送金可能です。ただ、海外の送金元の地域の事情で国際通信システムのスイフトコードが必要な場合は、下記の8ケタをお願ひいたします。

(通常、このコードがなくても銀行名、支店名、口座番号のみでうけるそうです)

BAIWJPT

支援物資受け入れ先

岩手県(下記の3か所になりました)

①住所：〒023-0807 岩手県奥州市水沢区新小路24番地16 サウンドキッズスル内
電話：0197-24-5656

携帯：090-8922-9410 高橋 悦彌 (たかはし えつや)
※発送する際、上記高橋悦彌様の電話にご連絡後お願ひ致します。

②住所：〒026-0052 岩手県釜石市小佐野町3-1-5 櫛田組内
電話：0193-23-7189

携帯：090-2276-4522 合田 良雄 (ごうだ よしお)
※発送する際、上記合田良雄様の電話にご連絡後お願ひ致します。

③住所：〒028-0024 岩手県久慈市栄町37-148-1
したみちら法務行政書士事務所内 下道 利幸 (したみちら としゆき)

電話：0194-52-2938
携帯：090-5595-1200

宮城県

住所：〒985-0021 宮城県塩釜市尾島町27-30
キクニ(株) 桑原 茂 (くわばら しげる)

電話：022-365-5572 FAX022-361-3370

災害支援物資につきましては、下記の物資が不足しております。

・赤ちゃんの粉ミルク

・赤ちゃんのおむつ
パズ
おしりふき

・介護老人用

・お米
調味料

・インスタント類

・カセットコンロ・ボンベ付

・電池

・お菓子

・衣類

・寝具

・女性用

・生理用品・下着

新生児用・Sサイズ・Mサイズ・Lサイズ・LLサイズ
Mサイズ・Lサイズ・LLサイズ

6ヶ月・7ヶ月・8ヶ月・9ヶ月・10ヶ月
パット・パンツ(S・M・L・LL)

味噌、しょうゆなど
うどん・そば・ラーメン

単1・単2・単3・単4

羊羹・せんべい・チョコレート・船類

靴下・下着等(大人・子供用)タオル類

枕

生理用品・下着

RI第2520地区 復興に関する書式の一部

(2014.11.17 公開例会資料より)

仲介チェックリスト

復興支援特別委員会 担当者

年 月 日

被災クラブ	RC	支援クラブ	RC
担当者		担当者	
TEL・連絡先		TEL・連絡先	
事業内容			
開始日時	年 月 日	終了日時	年 月 日
経過	1 月 日		
	2 月 日		
	3 月 日		
	4 月 日		
	5 月 日		
	6 月 日		
	7 月 日		
	8 月 日		

※被災クラブの五十音順にファイル

第2520地区 復興支援活動費請求書

年 月 日

① クラブ名 ロータークラブ

② 件名

日時 ~

参加者名

活動結果

③ 申請予算額 ¥ 確定額 ¥

④ 振り込み先 銀行 支店

⑤ 口座NO.

普	フリガナ	名義	
普			

記入スペースが足りない場合には別紙にて報告してください。

検印	ガバナー	委員長	千葉雅	千葉正
	月 日	月 日	月 日	月 日
				通し№

ガバナー事務所FAX: 022-263-6550

今後の地区とクラブの活動指針

(RI2520地区ガバナー月信より)

第2520地区の会員の皆様、地区は「クラブに主体」があることを原点にして次のように支援をさせていただきます。檜山ガバナー年度・菅原ガバナー年度・小野寺ガバナー年度の三年間実施していきます。

※今年度地区資金・特別会計・義援金・基金等を返金せずに各クラブ負担金の1年間の免除をするため次期の地区運営資金として使わせていただきたく地区へのご支援をお願いいたします。是非ご協力下さい！

【第2520地区が各クラブに対して応援できること(私案)】

- ①クラブが主体です！→クラブの維持・存続・運営を応援していく！
 - ②クラブの活動資金の支援をしていく！
 - ③国際ロータリーに対する全クラブの人頭分担金の1年間の免除申請をする！
 - ④地区資金に対する全クラブの負担金の減額・免除のお手伝いをする！
 - ⑤被災クラブと非被災クラブとの連携を強くして支援していく！
 - ⑥今こそロータリーの奉仕の精神と社会貢献の実現をしていく！
- ※資金的な心配をせずに1年間ロータリアンの資格を継続できるようにする！
※各クラブの状況の正確な把握が大切です！

(具体案:例示)

【災害支援期：檜山年度】

1. 被災沿岸26クラブへ当面の活動資金援助をする
(50万円×26クラブ=1,300万円)
2. 被災沿岸26クラブへ弔慰金・見舞金の援助をする
(50万円×26クラブ=1,300万円)
3. 各クラブが地域に貢献できるよう活動資金援助をする
(30万円×83クラブ=2,490万円)

合計5,090万円

※今は会員とクラブの維持・存続が最重要です

※各クラブが主体的に有効にお使い下さい

【災害復興期：菅原年度】

4. 国際ロータリーに対する全クラブ人頭分担金の1年間の免除を実施する
(前期27\$・後期26\$=53\$(82円換算)×2,300名=9,995,800円)
5. 地区運営資金に対する全クラブ負担金の1年間の免除を実施する
 1. 一般会計(前期12,000・後期12,000)=24,000
 2. 特別会計①青少年交換・長期(前期500・後期500)=1,000
 3. 特別会計②青少年交換・短期(前期500・後期500)=1,000
 4. 特別会計③GSE協力金(前期500・後期500)=1,000
 5. 特別会計④地区大会協力金(前期2,500・後期2,500)=5,000
(前期16,000・後期16,000)32,000円×2,300名=73,600,000円)
 6. 地区運営資金は実費徴収として運営をしていく
 7. 地区活動の本来あるべき姿を目指していく
 8. 地区活動をシンプルにして有効な活動をしていく
 9. 全クラブが創意工夫して活動していくことを応援する

【災害復興期：小野寺年度】

10. 地区活動の本来あるべき姿を目指していく
11. 地区活動をシンプルにして有効な活動をしていく
12. 地区運営資金は実費徴収として運営をしていく
13. 全クラブが創意工夫して活動していくことを応援する
14. ロータリーの会員で良かったという地区を創造していく

海外からの支援メール

(2014.11.17公開例会資料より)

----- Original Message -----

Subject: Re: D1110 Support

Date: Thu, 5 Jul 2012 00:54:37 +0100

From: William McClintock <william.mcclintock@gmail.com>

To: Yoshio Takeda <d2520relief@iinternational.jp>

CC: ihamar@btinternet.com, cadkins@hotmail.co.uk

Dear Sir,

Thank you for your last e-mail which was very encouraging. 前回の励ましを受けるメールありがとうございました。

Have you made progress on the Support Plan for the Kindergartens? 幼稚園・保育園の支援プログラムの内容に関して進展はありましたでしょうか？

As we are now in a new Rotary Year we would like to send our funds to you just as soon as we can agree a suitable project.

新しいロータリーの年度が始まるので、適切なプロジェクトが双方の合意のもとで開始できるのであれば、すぐにも支援金を送りたいと思います。

Our support to the affected children, teachers and parents is guaranteed. 震災に遭われた子供達や先生、ご父兄への支援は、私は責任を持って果たすつもりです。

I look forward to hearing from you. ご連絡をお待ちしています。

William McClintock

ウイリアム・マッキントック

D1110 Disaster Committee

イギリス・スコットランド D1110復興支援委員会

President Rotary Club of West Wight

ロータリー財団 マッチング・グラント進行表

(RI第2530地区ガバナー月信より)

単位 \$

2011年5月31日現在

整理番号	受理番号 MG No.	ホストクラブ	パートナークラブ	地区	ホスト側		パートナー側		プロジェクト 合計	協カクラブ	地区	プロジェクト 内容
					現金	DDF	現金	DDF				
1	75008	金津若松南RC	Hadong RC	3590	4,000	10,000	4,831	10,000	28,831			リフトトラック
2	75368	須賀川RC	台北南徳RC	3520	100	10,000	22,100	5,000	105,196	高槻東 5,000 高槻 5,000 高槻西 14,000	2660	被災地向け仮設トイレ、簡易トイレ、炊飯器
3	75374	喜多方RC	USA Wilsonville RC	5100	1,802	10,000	上郡 500 Wilsonville500	2,000 5,000	30,203	上郡RC	2680	アルミバントラック
4	進行中	東白川RC	England Coventry North RC	1060	1,000	5,000						仮設住宅に布団セット
5	進行中	福島西RC								八尾中央RC 福家宏財団委	2660	広報車両(予定)
6	75382	郡山西北RC	RC. Salem	6650	NW 100 gihu 100 kuwana 100	5,000	1,000	2830 11,800 6650 11,650	54,650	渡辺忠彦DRFC	2630	枕、米、ドライフーズ
7	進行中	郡山西北RC	インド Devang Thakore Governor	3060								
8	進行中	郡山西北RC	Northern Connecticut and Western Massachusetts	7890								
9	75398	福島南RC	台湾 台北剣潭RC	2590	625	625	2,500	5,000	33,963	横浜港北RC 2,500 2590地区 5,000	2590	チェアキャブ リフタータイプ
10	進行中	船引RC	Alaska/Youkon and Russia East Ural Mountains	5010								車両系
11	進行中	船引RC	Eastern North Carolina	7720				50,000				バントラック(次年度)
12	進行中	勿来RC	台湾 新竹RC							神奈川 鶴見東RC	2590	ガイガーカウンター
13	進行中	いわき内郷RC								新潟 東山地区ガバナー	2560	
14	申請中	郡山南RC		1560		5,000		100 50,000	122,000	2800地区	2800	ガイガーカウンター、洗濯物室内乾燥機、 自転車
15	完了	石川RC	平塚RC									直接寄付
16	進行中	福島中央RC								新大阪RC	2660	
17	75403	福島グローバルRC	ドイツ・ミュンヘン バーリアRC		福G 2401 他 14,173	20,964.5	9,168		80,500	かながわ湘南 大飯わくすと 小田原 東京米山友愛	2780 DDF 10,943.5	図書セット 被災地校 22校
18	進行中	白河西RC	北京RC									放射能検量器
19	進行中	喜多方中央RC								京都西山RC		
20	進行中	須賀川南RC	USA Montreal-RC							七尾RC 七尾みなとRC カーメルバイザーシーRC	2610	学校図書
21	進行中	福島21RC	ウランバートルRC									
22	完了	東白川RC	小倉RC	2700				現物寄贈 (7,500 \$)				放射能検量器(6個)
23	進行中	郡山RC	小倉RC	2700				現物寄贈 (3,800 \$)				放射能検量器
24	進行中	須賀川RC	台湾 台南北RC									

ロータリー東日本震災復興基金日本委員会 2530地区承認報告

(RI第2530地区ガバナー一月信より)

(単位:円)

NO.	クラブ名	支援先・申請内容	合計金額	申請(承認)金額	クラブ持出総合計
1	福島21	相馬農業高等学校 新入生制服等支援	1,649,752	800,000	849,752
2	いわき桜	いわき市社会福祉協議会 テント10張を寄贈	1,134,000	1,100,000	34,000
第1回 日本委員会承認金額(2件)			2,783,752	1,900,000	883,752
3	福島中央	福島市 線量計で測定するにあたっての車両を2台寄贈	3,549,820	3,549,820	0
第2回 日本委員会承認金額(1件)			3,549,820	3,549,820	0
4	いわき常盤	湯本高等学校 吹奏楽部への楽器の提供と練習場所の確保	2,990,000	2,940,000	50,000
5	いわき平	いわき市 放射線測定装置整備事業	2,484,000	2,400,000	84,000
6	本宮	本宮市、大玉村仮設住宅入居者の地域自治会作りの支援	712,000	400,000	312,000
第3回 日本委員会承認金額(3件)			6,186,000	5,740,000	446,000
7	いわき鹿島	いわき市江名小学校 津波被害により流出した楽器スポーツ用具の補充	906,450	126,450	780,000
8	船引	田村市 災害復興支援事業(車両2両の寄贈)	4,255,580	2,000,000	2,255,580
9	いわき勿来	NPO法人勿来まちづくりサポートセンター 巡回用車の贈呈(軽ミニバン)	1,463,376	1,200,000	263,376
第4回 日本委員会承認金額(3件)			6,625,406	3,326,450	3,298,956
10	南相馬	南相馬市医療法人相雲会小野田病院(巡回車)	1,484,710	600,000	884,710
11	保原	伊達市 保原学校給食センター(食品等の放射線物質測定器の寄贈)	4,200,000	2,100,000	2,100,000
12	福島中央	避難所から通っている児童に対し、辞書を贈呈するプロジェクト	1,976,000	988,000	988,000
13	いわき鹿島	いわき市永崎小学校 津波被害により流出した楽器スポーツ用具の補充	1,973,168	405,368	1,567,800
第5回 日本委員会承認金額(4件)			9,633,878	4,093,368	5,540,510
14	いわき平東	いわき市教育委員会(小・中・幼稚園・保育園)高圧洗浄機120台を寄贈	6,930,000	3,450,000	3,480,000
15	南相馬	県立原町高校への部活動支援(弓道場の修復、放送部の備品購入)	885,500	400,000	485,000
16	南相馬	南相馬市医療法人相雲会小野田病院(巡回車)	1,484,710	600,000	884,710
17	いわき平中央	いわき市立豊間中学校 津波で校舎流出 教材・用具・備品の提供	648,477	324,237	324,240
18	いわき小名浜	いわき海星高校復興「P旗」プロジェクト 学校再開の支援(校舎工事他)	12,513,520	6,240,000	6,273,520
19	郡山北	本宮市 仮設住宅に設けられる集会施設の空調設備	3,516,135	1,758,067	1,758,068
20	郡山南	郡山市 放射線除染用高圧洗浄機の寄贈(2台)	976,500	4,882,500	488,250
21	いわき四倉	いわき市立四倉中学校 下駄箱の寄贈、感染症予防加湿器の寄贈	1,606,500	803,250	803,250
第6回 日本委員会承認金額(8件)			28,561,342	14,063,804	14,497,538
22	福島南	ミュージカル「葉っぱのフレディ」公演(いわき市・南相馬市)	11,170,000	2,500,000	5,670,000
23	福島北	福島市「四季の里」頑張ろう福島子ども グルメスイーツフェスティバル	5,000,000	4,500,000	500,000
24	原町中央	南相馬市 南相馬市へ放射線測定器を寄贈(新入園児分720台)	5,688,000	1,500,000	4,188,000
第7回 日本委員会承認金額(3件)			21,858,000	8,500,000	10,358,000
日本委員会承認金額総計 24件			79,198,198	41,173,442	35,024,756

RI第2530地区 東日本大震災

支援物資・義援金一覧

2011.3.11～4.30現在
(RI第2530地区ガバナーマナー月信より)

支援物資提供クラブ一覧		2011/4/1～4/30現在
地区外	クラブ名	支援物資内訳
第2680地区兵庫・明石西RC		医薬品類
第2640地区大阪南部・和歌山		毛布1000枚・肌着・紙オムツ・トイレットペーパー・食料品・日用品・マスク・生理用品外 他
第2660地区大阪府北部		日用品・消毒液・軍手・インスタント食品・歯ブラシセット 他
第2650地区 亀岡RC		肌着・紙おむつ・トイレットペーパー・食料品・日用品・マスク・生理用品外 他
第2650地区奈良 五條RC		マスク・軍手・割り箸・子供用下着 他
第2570地区埼玉東南 入間RC		衣類・食料品・タオル・歯ブラシ 他
第2770地区埼玉西北・川口南RC		マスク2000枚
ミネパ株式会社アメリカ法人 手代木氏		寝袋110個・ジヤケット160枚 他
地区内		
第2530地区		マスク100000枚
地区内支援物資提供先		
アイテック株式会社		電池・生理用品・粉ミルク・カロリーメイト・毛布・非常用炊飯セット・飲料水 他
義援金御芳名一覧		
御寄付芳名	義援金御寄付額	2011/3/31現在
大橋隆治ガバナー	¥500,000	シマムラ氏 ¥1,000
川崎宮前RC	¥800,000	ツルマヨウヘイ氏 ¥20,000
第2580地区ハマダユキオ氏	¥20,000	第2710地区 広島西RC ¥30,000
北 清治PG	¥30,000	第2750地区 タカノカツコ氏 ¥110,000
第2660地区	¥200,000	第2130地区 ¥300,000
福井アエニックスRC	¥41,000	第2510地区 ササキマサツグ氏 ¥100,000
本宮RC	500000	
支援物資提供クラブ一覧		
地区外	クラブ名	支援物資内訳
第2760地区 岡崎南RC		マスク2200枚・ポリ袋600枚・軍手20ダース×5・軍手60ダース×1・生理用品・歯ブラシ
第2730地区 加世田RC		ハスタオル・肌着・毛布・ポリ袋・補灰カイロ
第2770地区 国際奉仕部門委員長 隅内道三様 他2名		マッサージ機・手さげ袋・水筒 他
第2750地区 杉並RC		飲料水20ℓ×200ケース
第2750地区 地区幹事 鈴木隆志様		放射線探知機5台
ミネパ株式会社アメリカ法人(手代木和之様の息子さん 手代木和郎様)		寝袋211個・衣類30着
第2630地区 松阪山桜RC会員'吉田 絨様)		カーボンマスク500枚
第2640地区 富田林RC		マスク(子供用)100枚・マスク(大人用)300枚・軍手360組・ポリ袋・ラウン・消毒液・マスク・歯ブラシ
第2750地区 東京八王子南RC		マスク16,000枚・コンブ船6箱
義援金一覧		
御寄付芳名	義援金御寄付額	2011/4/1～4/30現在
2010-2011年度 ガバナーマナー会	¥30,000,000	御寄付芳名
第2590地区 川崎あさおRC	¥300,000	所沢東RC ¥837,000
東白川IRC	¥100,000	中央分区分10クラブ ¥600,000
秩父RC 会長	¥30,000	USA NEWPORT RC ¥39,855
ブルース・マクナルド' BRUCE McDONALD	¥249,660	第2590地区/ケンタンRC(台湾) ¥2,500,000
東京城西RC	¥76,000	(財)ロータリー米山奨学会 ¥1,800,000
戸田RC	¥300,000	福島南RC ¥2,000,000
福島東RC	¥930,000	神戸RC ¥1,000,000
第2770地区	¥30,000	第2720地区 ¥8,000,000
リトアニア MARUAMPOLES RC	¥29,800	加古川IRC ¥500,000
今市RC	¥500,000	タイ JAKKHAL VISUTTHAKUL ¥231,655
横浜都薬RC	¥1,000,000	ポーランド GDANSK-SOPOT-GDYNIA ¥79,800
渡辺誠二氏・二神典子氏	¥10,000	USA第5330地区 FOUNDATION ¥795,345

シエルトターボックス
支援経過報告



大変な災害です。ガバナー事務所は機能しておりますので、被害が甚大な地域の皆様、クラブ、会員の皆様のお役に立てますよう、ガバナーを中心に幹事団、事務局一体となって、今後の復旧と復興のために努力いたしております。

今回の震災に国内はもとより全世界のロータリーアリアンタらくさんのお見舞いと激励をいただきましたが、いち早く稼働いたしました。RIからの支援のシエルトターボックスについて報告いたします。

シエルトターボックスにはテント、調理器具、簡易浄水器、毛布、敷物、工具などが入り、ケースも貯水槽や乳幼児のベッドにも使うことが出来る一式約50kg、輸送費用を含め1個1000ドルです。以下時系列に経過を述べます。

- 3月11日 被災
- 3月13日 第2750地区 長野ガバナーより、フランスからのシエルトターボックスの紹介を受ける。
- 3月14日 オーストラリアからのロータリアンの妻、高野由紀さんからメール。ジョン・レンズ元RI理事の紹介とシエルトターボックスの資料をいただく。
- 3月15日 同日、梅山ガバナーが本年夏地区大会の中止を決定。第1710地区フランス、リヨンのロータリアン、米山悦夫さんから連絡。
- 3月16日 RIからの派遣で、すでに3人の隊員が日本に入っていることを確認。在日のイギリス人、クリスティーナさんから連絡あり、ボックスを持つて仙台にはいっただが、宮城県庁では対応できません。岩手にも入れずに、東京に戻り待機している。受け入れ態勢の準備の依頼あり。ガバナー事務所としては田中代表幹事を情報収集の中心基地として各地各都府との渉外に当たることを決定。
- 3月16日 ガバナー、事務所長 県庁訪問
- 3月17日 県では受け入れ態勢が出来ない状況ということで、自己完結型の受け入れと配達を検討することとした。
- 3月18日 愛知RCを通して、NPO法人「市民防災レコープ」から協力甲しじ出前を依頼
- 3月19日 ボックスの届け先を検討
- 3月19日 宮城の受け入れ態勢を整っていないということ、とりあえず岩手の陸前高田、大船渡、釜石、宮古、山田、この時点で、柔原PGと連絡がとれ、要請があったため、塩釜も追加となる。
- 3月19日 クリスティの手配で、イギリス大使館を通して、アカカ大使館に依頼。横田基地でのボックスの保管がきまり、500個を成田から横田に移動。米軍機で花巻までの空輸を試みた。花巻での対応が出来ず断念。三沢基地までの空輸の案も三沢からの陸路の難しさを断念。
- 3月19日 クリスティからの連絡。GSE罹難者の鎌田氏の協力で東京で10トン車3台を確保。ガブリンは米軍が提供してくれることを受け入れ基地として田中代表幹事の交渉で大昭運輸、黒瀬の協力を得、柴波町のテクノポト手先を決定。
- 3月19日 岩手への輸送も、大昭運輸さんにお願いでございこと決定。泊岸への横田基地出発。シエルトターボックスの国際チーム6名も盛岡へ。北山氏(盛岡西北RC)の協力で、北ホテルを確保。その後の国際チームの拠点とした。
- 3月20日 ボックス330個が津波町に到着。8名で配達基盤に移動。陸前高田、大船渡、山田に各56個、釜石52個、宮古60個に任分け、11時、各地に向け出発。塩釜へは蒲田氏の協力で東京への帰路を届けるところとなつた。

シエルトターボックスの概要



シエルトターボックスは世界各国で災害に遭われた方に、緊急用のシエルトターと救命用品を提供しています。緑色のボックスには、大家族にも対応可能な災害用テント、毛布、貯水および各種調理器具、調理器具、コンロ、工具一式が収納されています。



保温用物品
保温性の高い毛布や耐熱素材の敷物など、夜間に気温が下がる地域においては必須となる様々な非常用物資があります。

工具一式
金鋸、小斧等、のこぎり、掘削シャベル、鍬の頭部、ペンチおよびワイヤーカッターを含む工具一式が揃っており、薪を切ったりトイルを掘ったりすることが可能であるほか、状況に応じて、いったんは離れた自宅に戻り、その補修することもできます。

テント
シエルトターボックスの主な収納品としては、10人まで収容可能な被災テントが約100個あり、世界的に有名なテント製造メーカーの有名ブランドであり、通風・気密・防水・耐風・暴雨にも耐える設計となっています。

各テントの内側には間仕切りが設けられ、使用者が自由に空間を区分けすることができます。

調理器具
鍋、皿、コップ、貯水器具等があります。

浄水器材
浄水器材は平均して10リットルの水をろ過し、製品ライフサイクルとしては18000リットル以上の水をろ過することが可能です。全てのバクテリア、ウイルス、寄生生物の99%以上を除去し、沈殿物の多い水に対しても微生物学的な水質基準に適合するEPAのガイダンスに準拠しています。製品の寿命内において交換が必要な部品流水は必要ありません。

国際ロータリー第2520地区ガバナー事務所 事務局長 瀬川 敦義

2010-2011年度

チームはボックス使用の指導のため、釜石地区に3名、宮古、山田地区に3名が出発。午後になり各地から到着の報告有り。16時40分すべてのボックスの到着を確認。

チーム6名、ガバナー、事務所長打合わせ(北ホテル)チームは陸前高田、大船渡に使用方法的説明に出発。陸前高田の田村会員にボックス受け入れ、配布について大変な協力をいただく。

この日、ガバナー船泊16名すべてと連絡がとれる。チームは大船渡で活動。同地区ではニーズが多いことをガバナー、ご子息と共に亘理、名取、仙台空港、塩釜を訪問。ボックスの到着確認と被災状況の確認をし、各地の要望を聞く。

ガバナー、ご子息と伴に気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、宮古を訪問。確認と要望を聞く。走行距離約1000km仙台にシエルトターボックスチームが到着。

仙台、気仙沼、石巻、七ヶ浜、名取、亘理地区への配布を決定。

チームのクリス氏は梅原、前日からオーストラリアのジョン・ローレンス元RI理事が盛岡入りしていることを確認。6名とガバナー、事務所長で対応を協議(北ホテル)仙台ではボックスを必要としないということ、さらに追加希望のあった大船渡地区に回送することとし、運送は地対対応することとした。

岩手県庁初層本部との話し合いで、ボックス100個を別途宮城県に届けることを決定。午後には宮城での打ち合わせがあるということで、4名が仙台に出发。2名は盛岡に3福島の大船ガバナーにシエルトターボックスの件を連絡することとした。

27日 岩手県議会選挙にシエルトターボックスの展示、盛岡駅前にシエルトターボックスの展示。

以上が28日までの経過です。今後も希望があればシエルトターボックスは供給していただけることでした。

全世界、全国のロータリーから、賛助の申し出と義援金をいただいております。各クラブにおかれましては、会員の可否確認をしていただき、ガバナー事務所にご報告していただきますようお願いいたします。ご要望もご連絡いただきたいと存じます。



シェルターボックスと国際ロータリー

(RIウェブサイトより)

シェルターボックスと国際ロータリーによる協力関係

シェルターボックスと国際ロータリー (RI) は、全世界で発生した自然災害や人道的危機に直面した地域社会を安定させ、保護し、支援するための緊急シェルターと必要物資を提供する協力関係 (パートナーシップ) を結んでいます。

シェルターボックスとはどのような団体ですか

シェルターボックスは、地震、火山活動、洪水、ハリケーン、サイクロン、津波といった自然災害に見舞われた地域や、紛争が勃発した地域に、緊急に援助を提供する国際災害支援団体です。現在、世界に17の関連団体があり、災害直後に仮設テントや救命用具、教育物資を届けるために、世界各地で活動しています。2000年の設立以来、90カ国で発生した200件以上の自然災害や人道的危機に対応し、実に100万人以上の人びとに支援を提供してきました。

シェルターボックス対応チームはどのような活動をするのですか

経験豊かなボランティアを中心とするシェルターボックス対応チームは、被災地の団体、国際救援機関、世界各国のボランティアと協力し、現地でシェルターボックスを届ける役割を果たします。シェルターボックスには通常、家族用テント、毛布、貯水タンク、浄水キット、調理用具、コンロ、基本的な工具、子ども用アクティビティ・セット (学習・遊びを助ける物資)、その他の生活必需品が収められています。場合によっては、シェルターボックスのほかに、教師のための教育ツールや基本的教材 (50人分) が入ったスクールボックス (School Box) が含まれています。

クラブや地区はどのような形で参加できますか

ロータリークラブと地区は、シェルターボックスを通じて、被災地のニーズに応える緊急災害救援活動を支援することができます。

シェルターボックスとRIの協同プロジェクトのアイデアを以下にご紹介します。

- シェルターボックスのための募金活動に参加または実施したり、シェルターボックスに寄付する。
- 救援物資の税関通過に協力したり、対応チームのために便宜を図ったりすることに加え、救援テントの設置方法について地元の人びとに教える。
- 自然災害や人道的危機に直面した地域の政府や団体と、シェルターボックスとの調整を図る。

その他の参考資料

「活動する地域社会: 効果的なプロジェクトのための手引き」(605A)

「地域調査の方法」(605C)

「Rebuilding and Recovering: Serving with Rotary in the Wake of a Disaster

(復興と復活: 災害時のロータリーとの協力)」(ウェビナー録音、英語)

シェルターボックス年次報告 (2012年) (英語)

お問い合わせ

Rotary International
Rotary Service, Programs Division
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org
電話: +1 847-866-3301
ファックス: +1 847-556-2182
Eメール: rotary.service@rotary.org

ShelterBox
Water-Ma-Trout
Helston, Cornwall TR13 0LW UK
www.shelterbox.org
チャリティー電話: +44 (0) 1326 569782
Eメール: rotaryrequest@shelterbox.org

東日本大震災プロジェクト委員会被災地活動記録

期 日	行 程
平成24年 4月3日(火)	中部国際空港 —<ANA>— 仙台空港 — — レンタカー — — ホテルメトロポリタン 7:40発 8:55着 12:00着
	仙台RC例会出席 — — 復興支援委員会との会議 12:30~13:30 14:00~16:00
平成24年 4月4日(水)	ホテル — — 被災地視察 — — レンタカー — — 仙台空港 —<ANA3148>— 中部国際空港 9:00発 16:40発 17:55着
参加者	鈴木元弘 深谷友尋 高須洋志 吉原孝彦

期 日	行 程
平成25年 4月9日(火)	中部国際空港 —<ANA361>— 仙台空港 — — レンタカー — — 女川町役場(炊き出し手伝い・町長面談) 9:35発 10:50着 12:30着
	女川町役場 — — 石巻市内視察 — — 気仙沼プラザホテル(気仙沼RC会員と会食、情報交換) 14:30発 17:00着
平成25年 4月10日(水)	ホテル — — 被災地視察 — — レンタカー — — 仙台空港 —<ANA1804>— 中部国際空港 9:00発 18:00発 19:20着
参加者	鈴木元弘 吉原孝彦 石川博 松尾憲二郎 石田正城 山下正裕

期 日	行 程
平成25年 10月31日(木)	中部国際空港 —<ANA363>— 仙台空港 — — レンタカー — — 仙台国際ホテル 9:30発 10:50着 12:00着
	仙台南RC例会出席 — — ガバナー、復興支援委員会との会議 12:30~13:30 14:00~16:00
平成25年 11月1日(金)	ホテル — — 南三陸防災庁舎 — — 女川町役場(炊き出し手伝い、女川町長と対談) 7:00発 9:30着 10:30発 12:30着
	女川町役場 — — 被災地視察(大川小学校、塩釜、名取町等) — — 仙台空港 —<ANA1804>— 中部国際空港 13:30発 17:00着 18:05発 19:25着
参加者	田中正規 榊原勝俊 鈴木元弘 吉原孝彦 石川博 山下正裕

期 日	行 程
平成26年 8月25日(月)	中部国際空港 —<ANA3145>— 仙台空港 — — レンタカー — — 気仙沼ホテル観洋(公開例会講師打合せ) 11:34発 12:45着 17:00着
8月26日(火)	ホテル — — ホテルメトロポリタン仙台着 — — 仙台RC例会 8:30発 12:00着 12:30~13:30
8月27日(火)	ホテル — — 貸切バス — — 渡波小学校 — — (昼食) 9:00発 10:15着 11:00発 11:30着
	昼食 — — 志津川中学校 — — 仙台駅 — — 仙台空港着 —<ANA366>— 中部国際空港 12:10発 13:20着 13:50発 16:00着 16:30発 16:53着 18:40発 20:00着
参加者	鈴木元弘 吉原孝彦

2015年5月19日
国際ロータリー第2760地区
2014-2015年度東日本大震災プロジェクト委員会
委員長 鈴木 元弘
副委員長 吉原 孝彦
副委員長 山下 正裕

Rotary
RI2760

